

他者の目を気にしない振る舞いが尊敬される

— 社会的評価への関心の表出と有能性推論 —

孟 憲巍*, 黄 少君, 水野 佑佳, 尾野 有起良
Xianwei Meng, Shaojun Huang, Yuka Mizuno, Akira Ono

名古屋大学大学院情報学研究科

Graduate School of Informatics, Nagoya University

*correspondence: meng@i.nagoya-u.ac.jp

概要

他者からの評価への関心は、社会的行動の調整を通じて評判の向上に寄与すると考えられてきたが、その関心の表出がどのような社会的効果を持つかは十分に明らかにされていない。本研究では、評価に関心を示さないように見えることが有能性のシグナルとして機能し、尊敬を高めるという仮説を検証した。事前登録研究の結果、評価への関心が低い人物はより有能で尊敬に値すると判断され、この効果は有能性認知によって媒介されていた。以上より、評価に対する姿勢の表出が有能性推論の手がかりとなる可能性が示唆された。

キーワード：評判、シグナリング理論、社会的評価

1. はじめに

社会的評価とは、個人の特性や地位に関する他者の判断であり、これにより他者がその個人にどのように接するかが左右される (Nowak & Sigmund, 2005)。例えば、個人が有能と認識されると尊敬を得やすくなり、社会的影響力が高まる (Cheng et al., 2013; Fiske et al., 2007)。心理学研究では、他者の評価に注意を払うことで、評判の損失を避け、社会的地位を高める行動が促進されることが示されている (Leary & Kowalski, 1990; Jordan et al., 2016)。

しかし、個人が評価されることに対して示す姿勢が観察者にどのように解釈されるかは、ほとんど明らかになっていない。本研究では、評価に無関心に見えること自体が、有能性の手がかりとして機能し、結果として尊敬を高めることを提案する。その理論的根拠として、シグナリング理論によれば、有能な個人は他者からの評価を気にせず行動してもリスクが低いいため、無関心な姿勢が有能性の信号として解釈され得る (Spence, 1973; Zahavi, 1975)。本研究では、

評価に関心を示さない個人が、より有能で尊敬に値すると評価されるかを検討した。

2. 方法

参加者 本研究の方法 (仮説, サンプルサイズ, データ収集, データ処理, 測定, 統計解析) は、データ収集前に事前登録した。最終的な分析対象は 361 名 (女性 185 名, 男性 175 名, ノンバイナリー 1 名, 平均年齢 41.59 歳, SD=9.27, 範囲 19-68 歳) であった。参加者はクラウドワークスを通じて募集された。

手続き 参加者は、まず社会的評価への関心の表出の高低を操作した職場場面のシナリオを読んだ。高関心条件では、登場人物は他者からの評価を強く気にし、誤った噂が広まった際に弁明を行う人物として描写された。一方、低関心条件では、評価にあまり関心を示さず、同様の状況でも弁明を行わない人物として描写された。

その後、参加者は登場人物に対する尊敬 (8 項目)、エージェンシー関連特性 (有能性・独立性・操作性の 25 項目)、操作チェック (評価への関心, 7 項目)、および自身の評価への関心を評定した。各尺度は高い内の一貫性を示した。項目はランダム順で提示され、シナリオは意味的に等価な複数バージョン (登場人物の性別を含む) を用意し、参加者は条件 (関心の高低) × シナリオバージョン × 性別の組み合わせからランダムに割り当てられた。

3. 結果

エージェンシー評価に対する探索的因子分析を行った結果、3 因子構造が確認された。各因子はそれぞれ「独立性」(21%)、「操作性」(19%)、「有能性」(16%) と解釈された。

尊敬を従属変数とした共分散分析の結果、条件の

主効果が有意であり ($F_{(1, 351)} = 113.46, p < .001, \eta^2_p = 0.24$), 社会的評価への関心が低く表出された条件の方が高い尊敬を示した (図 1)。参加者自身の評価関心も有意に影響し, 関心が高いほど尊敬評価が高かった ($F_{(1, 351)} = 3.62, p = .031, \eta^2_p = 0.01$)。その他の効果は有意でなかった ($ps > .07$)。

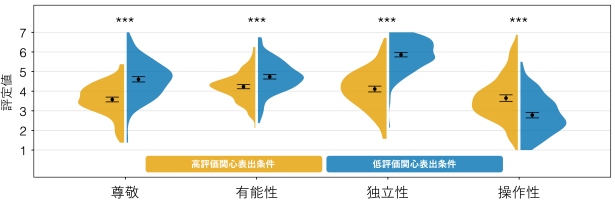


図 1 各次元 (尊敬, 有能性, 独立性, 操作性) における評価の分布。高評価関心表出条件 (左, 黄色)と低評価関心表出条件 (右, 青) について, ハーフバイオリンプロットで示した。黒点は平均値, エラーバーは 95%信頼区間を表す。*** $p < .001$ 。

同様の共分散分析を有能性・独立性・操作性評価に対して行った (図 1)。その結果, 有能性では条件および参加者の評価関心の主効果が有意であり, 評価関心が低く表出された人物ほど有能と判断された。独立性では条件の主効果および参加者の性別との交互作用が有意であり, 女性参加者は低関心条件では男性参加者に比べてより高い独立性を認知した。一方, 両性とも低関心条件の方が独立性は高く評価された。操作性では条件の主効果のみが有意であり, 高関心条件の人物はより操作的と判断された。

さらに媒介分析の結果, 評価関心の低さは有能性および独立性の高さ, 操作性の低さを予測した (図 2)。有能性は尊敬を正に, 操作性は負に予測したが, 独立性は有意ではなかった。ブートストラップ検定の結果, 有能性および操作性が関心表出と尊敬の関係を有意に媒介したが, 独立性の媒介効果は認められなかった。

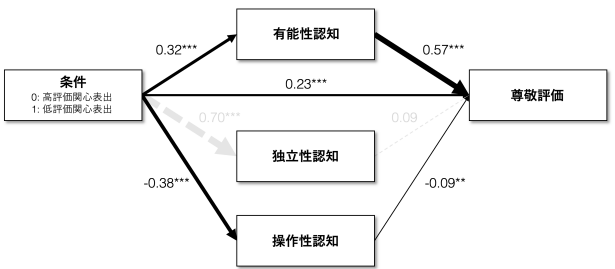


図 2 評価関心の表出が尊敬に及ぼす影響の並列媒介モ

デル。有意な経路は実線, 非有意な経路は半透明の破線で示す。数値は標準化パス係数で, 矢印の太さはその大きさを表す。*** $p < .001$, * $p < .05$ 。

4. 考察

本研究は, 他者からの評価への関心が適応的であるとされる一方で, その「表出」が逆に社会的評価にネガティブな影響を及ぼす可能性を検討した。社会的評価への関心が低く見える人物ほど尊敬され, この効果は主に有能性認知によって説明された。

また, 尊敬は有能性認知に基づいており, 操作性は尊敬を低下させる要因であった。これは, 有能性に基づく威信と, 操作や支配に基づく影響力を区別する理論と整合的である (Cheng et al., 2013)。すなわち, 評価への関心の低さは有能性のシグナルとして機能し得る一方で, 評価への過度な関心は戦略的・操作的意図の推測を招き, 尊敬を損なう可能性がある。

以上より, 評判への関心は単なる内的動機ではなく, 他者に解釈されるシグナルとして社会的評価を形成することが示された。この知見は, 日常生活や組織場面における行動指針に対しても, 実践的示唆を提供するものと考えられる。

5. 参考文献

Cheng, J. T., Tracy, J. L., Foulsham, T., Kingstone, A., & Henrich, J. (2013). Two ways to the top: Evidence that dominance and prestige are distinct yet viable avenues to social rank and influence. *Journal of Personality and Social Psychology*, 104(1), 103-125.

Fiske, S. T., Cuddy, A. J., & Glick, P. (2007). Universal dimensions of social cognition: Warmth and competence. *Trends in Cognitive Sciences*, 11(2), 77-83.

Jordan, J. J., Hoffman, M., Bloom, P., & Rand, D. G. (2016). Third-party punishment as a costly signal of trustworthiness. *Nature*, 530(7591), 473-476. <https://doi.org/10.1038/nature16981>.

Leary, M. R., & Kowalski, R. M. (1990). Impression management: A literature review and two-component model. *Psychological Bulletin*, 107(1), 34-47.

Nowak, M. A., & Sigmund, K. (2005). Evolution of indirect reciprocity. *Nature*, 437(7063), 1291-1298.

Spence, M. (1973). Job market signaling. *Quarterly Journal of Economics*, 87(3), 355-374. <https://doi.org/10.2307/1882010>.

Zahavi, A. (1975). Mate selection—A selection for a handicap. *Journal of Theoretical Biology*, 53(1), 205-214.